



高田馬場という混沌に
巻き込まれるべし



このモヒンガーは
ミャンマーを代表する
麺料理。
ナマズの出汁なのです。

「米とサーカス」のメニューは、
山羊の金、ヤモリ、
9がメ等々……。

山水ビリヤードは
玄人だらけです。
ずぶの素人が
こんなことしちゃダメ!

夜遊びもほどほどに
今回のNight Watch
山水ビリヤード MAP P.16-17 B-1
新宿区高田馬場2-18-11 (写真10~14)
稲門ビル2F
ノングインレイ MAP P.16-17 B-1
新宿区高田馬場2-19-7 (写真15, 16, 19~21, 24~26)
米とサーカス MAP P.16-17 B-1
新宿区高田馬場2-19-8 (写真27~33)
※上記以外には実際に街を歩いて見つけよう!



外観や内階段のミッドセンチュリー感あふれるデザインから分かる通り、かなり古いビル。その2階に鎮座する山水ビリヤードはなんと1955年創業—高田馬場の長老格です。その並びにあるビル「タックイレブン」もかなり年季の入ったビルですが、このビルの混沌は通りから看板を見れば誰でも分かります。ここはミャンマー料理店がたくさん入るビルとしても有名。1階の「ノングインレイ」は、壁に貼られた「今日のオススメ」がほとんど虫料理という強烈さです。いや虫はともかくとして、麺類とかサラダとか、とてもおいしいですよ。

虫料理と言えは(いや、別に虫が好きなわけじゃないが)このビルの裏の「米とサーカス」のほうが刺激的。ビル裏の線路に挟まれた路地は高田馬場の不思議スポットです。で、ぜひ迷い込んで混沌に身をゆだねてください。

東口すぐの交差点の北東角、「菊月ビル」は築年約50年。下の方には今っぽいお店が入っていますが、道の向かいから上階を見ると戦艦や要塞のこぎ造りです。その隣の東京三協信金のビルといい、その横の「学生ロビン」の看板がカバカ貼られた妙にポップな色の「伊勢浪ビル」といい、ともに相当な年季を感じるビルで、すべての部屋に混沌が潜んでいるようです。駅の側に戻りまして、東口すぐの交差点角にある「稲門ビル」、これも

高田馬場のキモは、何もかも飲み込んだ怪しい混沌です。よく言えばダイバーシティ。時間も国境も、清濁も貧富も超える感じ。しかも、駅から徒歩1分以内でその混沌の渦に巻き込んでくれるんだから最高です。駅近のすべてのビルがミニ九龍城のこと。

高田馬場の混沌に、よく言えばダイバーシティ。時間も国境も、清濁も貧富も超える感じ。しかも、駅から徒歩1分以内でその混沌の渦に巻き込んでくれるんだから最高です。駅近のすべてのビルがミニ九龍城のこと。

すべての建物、すべての路地が
息苦しいほどに濃密。



能町みね子
漫画家兼エッセイスト、イラストレーター。新宿区神楽坂在住。最新刊「能サボ」「能スポ」「きまぐれミルクセーキ」発売中。ラジオ・テレビ番組への出演多数。